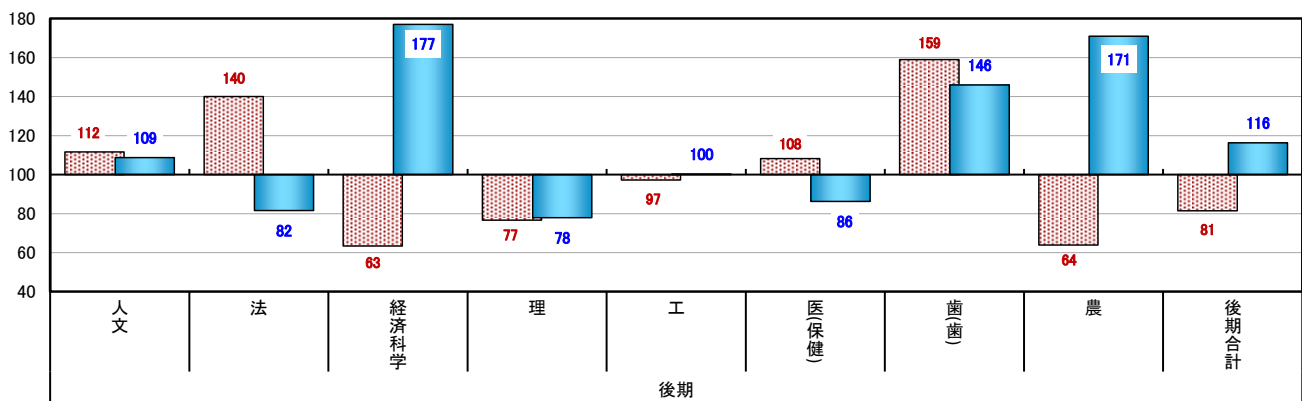
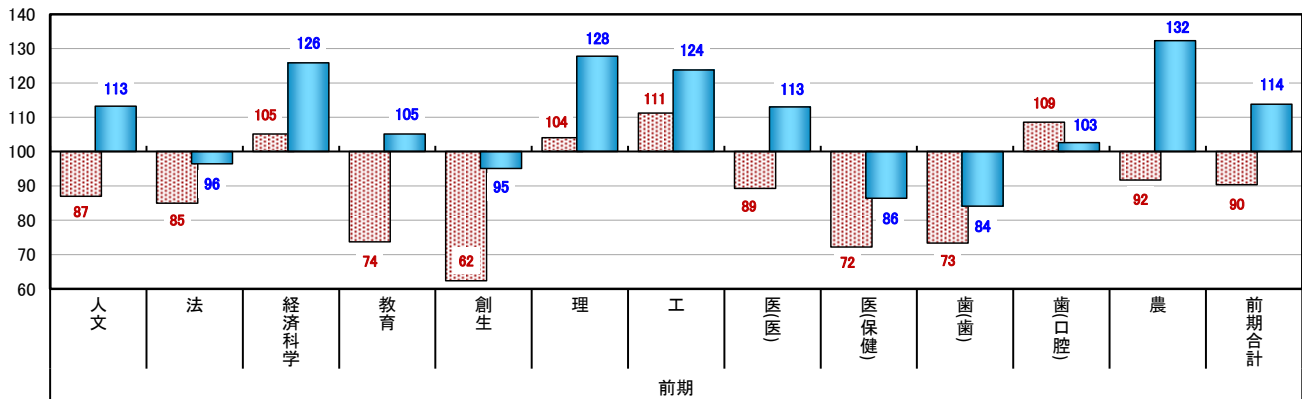


新潟大：前期は増加、後期は前年度の反動で大幅増加

前期：+432人 後期：+334人

※前年度の志願者数を100とする指数

□2021年度/2020年度 □2022年度/2021年度



COMMENT ※( )内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は432人(114)の増加。志願者数は5年ぶりに3,500人を上回った。学部別では、農(132)、理(128)、経済科学(126)、工(124)が大幅増加で、理系を中心に志願者数増加。後期は334人(116)の大幅増加で、前年度の反動による増減が継続。学部別では、経済科学(177)、農(171)が激増、歯(歯)(146)が2年連続大幅増加。

<前期日程>

- 人文(113)は、2年連続減少の反動で増加。
- 法(96)は、前年度の大幅減少に引き続きやや減少。
- 経済科学(126)は、改組3年目だが大幅増加で2年連続増加。志願倍率は2.5倍→3.2倍と改組後初めて3倍を上回った。
- 教育(105)は、前年度大幅減少の反動は小さく、やや増加。専修別では、増加した6専修は全て20%以上の大幅増加で、特に(学校教員養成/教科教育-理科教育)(226)は2倍以上の激増。一方で、減少した7専修も(学校教員養成/学校教育-音楽教育)(95)を除き20%以上の減少で、(学校教員養成/学校教育-教育心理学)(41)は前年度激増の反動で半減以下。
- 創生(95)は、前年度大幅減少の反動はなく、やや減少。2017年度の新設以降、初めて志願者数が100人を下回った。
- 理(128)は、大幅増加で2年連続増加。方式別では、<野外科学志向選抜>(153)、<理数重点選抜>(144)が大幅増加。一方で、<理科重点選抜>(69)は大幅減少。
- 工(124)は、大幅増加で3年連続増加。方式別では、<共通テスト重視型>(163)は大幅増加で志願倍率は1.5倍→2.5倍にアップ。一方で、<個別学力検査重視型>(67)は大幅減少で志願倍率は4.3倍→2.9倍にダウンと対照的。共通テストの平均点が大幅ダウンした数学の総合点に対する比率が<共通テスト重視型>が25%に対して、<個別学力検査重視型>は33%と<共通テスト重視型>のウェイトが小さかったことが影響。
- 医(医)(113)は、2年連続減少の反動で増加だが、志願者数は350人を3年連続で下回った。
- 医(保健)(86)は、減少で2年連続減少。学科別では、(保健/検査技術科学)(56)は2年連続で半減近い減少。
- 歯(歯)(84)は、2年連続大幅減少。志願倍率も5.5倍→4.6倍へダウンし、3年ぶりに5倍を下回った。
- 歯(口腔生命福祉)(103)は、やや増加で2年連続増加。
- 農(132)は、2年連続減少の反動と系統への人気上昇で大幅増加。

<後期日程>

- 人文(109)は、3年連続増加。志願倍率は10.0倍で、7年ぶりの10倍台。
- 法(82)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。
- 経済科学(177)は、前年度大幅減少の反動で激増。改組前の旧経済の2017年度以来5年ぶりに志願者数は600人を上回った。
- 理(78)は、2年連続大幅減少。
- 工(100)は、1人のみ増加の前年度並。
- 医(保健)(86)は、2年連続増加の反動で減少。専攻別では、(保健/放射線技術科学)<176>は激増。(保健/検査技術科学)(44)

は2年連続大幅増加の反動で半減以下。(保健／看護学)(87)は3年連続増加の反動で減少。  
○歯(歯)(146)は、2年連続大幅増加。志願者数は6年ぶりに180人を上回った。  
○農(171)は、前年度大幅減少の反動で激増。2019年度以降前年度の反動による大幅増減が継続。